

雪割

山形県立寒河江工業
高等学校雪わり会

寒河江市緑町148番地
TEL (0237) (86) - 4278
FAX (0237) (86) - 2913

印刷所 寒河江印刷株式会社



創立六十周年を迎えて



会長 榎 須 那

会員の皆様には、日頃から母校同窓会にご協力とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

今年で創立六十周年を迎えます。歲月人待たずと申しますが、月日の経つのは早いもので、創立時を振り返ってみると学校の周囲には田園が広がり田園風景の中に建っている校舎でありました。佇んで周囲を見渡すと、西に残雪を頂く月山の山並みを仰ぎ、北には葉山を抱き、私たちの多感な時代を心とまかせてくれたあの自然豊かな光景は、年を経た今でも鮮明に心に残っています。

今では、母校の周囲も大きく変貌し、寒河江中央工業団地として、県内有数の工業団地に成長し、本市はもとより周辺市町の産業経済の発展基盤となっています。

この間、九千六百余名を越える卒業生がこの学び舎を巣立ち、地元産業は勿論のこと中央・国内外でも幅広く活躍

躍され、産業の振興と発展に多大な貢献をされております。

今、学校改築整備事業が令和六年三月の第一期工事と令和六年度の完成に向けて進められております。斬新的な校舎は、生徒の勉学への意欲を増すような環境になるものと期待いたします。

いま経済は、新型コロナウィルス感染拡大よって、新しい社会生活による社会状況下で雇用・所得環境が急速に悪化しております。ここにきて規制緩和が実施されるなど国内外の経済活動に一条の光が差し込んできております。この様な状況もと、企業においては、経営の好転に大変な努力をされております。早く、コロナ感染社会前に回復することを祈らずにはいられません。

皆様には、将来に向けて、ここ数年は、新型コロナに立ち向かった特別な年として、この困難な状況を乗り越えたという自信と希望を持って力強く前に進んで頂きたいと思っております。終わりに、六十周年を節目として更なる歴史と伝統を継承し、地域に根ざした工業高校として益々の発展と会員皆様方のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

学校長あいさつ



校長 渡 晃

同窓会の皆様には、日ごろより本校の教育活動に対し物心両面からご支援を賜り誠にありがとうございます。

本校は今年度創立五十九年を迎えました。卒業生は昨年度末の時点で九六九名となり、一万名に迫ろうとしております。ご承知のとおり、卒業生は、寒河江・西村山地域はもとより山形県内外において、産業界を中心に各界・各層で活躍され、一企業にとどまることなく地域社会へ大きく貢献いただいております。また、本校の教育活動においては、キャリア教育活動を中心に卒業生の皆様のご講演やご援助を頂戴するなど、改めまして先輩方の母校に対する熱い思いを感じているところであります。

在校生の様子ですが、コロナ禍で活動にはさまざまな制限があったものの、比較的落ち着いた雰囲気の中で勉学や特別活動に取り組んでおります。今年度、部活動では、弓道部が県新人大会を勝ち抜き、東北選抜大会で第三位となる活躍を見せました。個人では機械科二年の児玉君が県新人大会で優勝し、全国選抜大会（熊本）に出場、準決勝まで進みました。来年度のさらなる活躍を期待

しているところです。ものづくり関係では、県マイコンカーラリーコンテストや東北ロボット相撲大会で上位入賞を果たし、全国大会へと出場しています。

本校は、来年度（令和五年度）に創立六十周年を迎えます。さらに令和六年度には、現在建設が進められている新校舎での活動が始まります。こうした大きな節目を迎えるにあたり、来年度から学科名を変更し、機械科をメカニカルエンジニア科、電子機械科をロボットエンジニア科、情報技術科をITエンジニア科として新入生を迎えることになりました。学科名の変更については、急激に変化する社会状況に柔軟に対応した学習を進めるとともに、学習内容を分かりやすく表現し、時代に即した斬新な学科名に変えることにより、寒河江工業高校の存在を地域社会に改めて示していくという決意が込められています。

工業技術の進歩には目覚ましいものがあり、それに伴い工業教育も日々進化をしております。しかしながら、「ものづくり」を通じた「人づくり」を大切にしたいという本校教育の精神は、社会がいかに変わろうとも全く変わることはありません。これまでの先輩の歩みを礎として、新たな時代の要請に応えられる「輝くエンジニア」の育成に向け、学校を挙げて邁進してまいります。これから母校に対する変わらぬご支援をお願い申し上げます。

コンクリート製品で世の中を支えて50年

トップベース工法(マイ独楽)



工藤コンクリート株式会社

代表取締役社長 工藤 泰輔 (平成4年 土木科 卒業)
〒999-3511 山形県西村山郡河北町寺地字真木348番地
電話(0237)73-2551(代) FAX (0237)73-2190

大沼工業株式会社

【足場・鉄骨・アスベスト工事・内部解体・その他工事一式】

□本社 寒河江市中央工業団地176番地の10 ☎0237 (84) 2463
URL <http://onumakogyo.jp/>
□愛子センター 仙台市青葉区上愛子字遠野原31番7
□山形営業所 山形市南一番町6-27



第30回
同窓会総会

第三十回山形県立寒河江工業高等学校同窓会総会が、令和五年一月二十九日寒河江市内の「ホテルサンチェリー」にて開催されました。この総会は、二年に一度開催されていましたが、コロナウイルス感染防止対策徹底のため令和三年一月に開催予定であった総会は中止（書面開催）となったため、四年ぶりに集まっでの開催となりました。

いさづでは、今年は創立六十周年目を迎え、来年は新校舎も完成する年でとても楽しみであること、県内はもとより国内外で活躍している皆様へ敬意と感謝を述べられました。また、渡邊晃校長先生からご祝辞をいただきました。その中で、寒河江工業高校の近況報告や生徒活躍などについてもお話しいただきました。

総会では那須会長を議長に、令和三年・四年事業経過報告、会計決算の承認、令和五年事業計画、令和五年会計予算などについて慎重に審議されました。

また、令和五・六年役員選出で

参加者は母校渡邊晃校長先生はじめ、熊坂教頭先生、天野機械科科长、鈴木電子機械科科长、会員三十四名が参加してくださりました。総会での那須稔司会長のあ



同窓会会長あいさつ（那須稔会長）



役員紹介の様子

は、那須稔会長、浜島保雄副会長、西堀智彦副会長、大沼有康副会長、長岡康雄副会長、安食清志監事、白田秀朋監事が選出され承認されました。昨年からひきつづき力強い役員体制で今年もスタートすることとなりました。その後の母校校歌斉唱は、コロナウイルス感染拡大防止のため、録音したCDを流し、心の中で歌っていただきました。声を出して歌うことはできませんでしたが、母校の発展を願う、参加者の思いが一つになったように感じられ、総会が終了しました。

総会終了後には、コロナウィルス感染防止対策を徹底して懇親会が開かれました。その中で、母校職員から学校の活動状況、生徒の活躍、各科の取り組みなどのお話をいただきました。

参加者は久しぶりに集まったこともあり、高校生の頃を懐かしみつつ、寒河江工業高校の更なる飛躍についておいに盛り上がっている様子でした。

校歌

祥保 光太郎 作詞
磯部 俊作 曲

遠きより 月山は呼ぶ
 懐かしき あの山あふ山
 やくましの生命の救へ
 大いなる 真理を求め 今日も 學ぶ
 われら われら 輝く 三三三

三 清らかり 最上の流水
思ひ出は あり河、あり河
うさわしの 學制並一と
青春の跡みは 燃えて 今少し 燃う
あられ あられ 輝く エンジニア

三、まゝなりけり世紀の末の
新しき、あの星のみ星
照けわたる日本の未来
知と愛の理想は高く、今日も進む
われりわれり、輝くエヒエニ



母校校歌齐唱



來賓祝辭(渡邊晃校長)

ホテル サンチェリー

寒河江市本町一丁目2番23号 ☎(0237)83-5000(代)
ホームページ <http://www.suncherry.com>

源泉かけ流し100%

庭園 大露天風呂



寒河江温泉
こころの宿

いちりょう

いちりょう 龍

寒河江市本町一丁目2番27号 ☎(0237)86-2233(代)
ホームページ <http://www.ichiryo.com>